

令和8年度「全国学力・学習状況調査」大阪市立大隅西小学校の結果

～分析から見えてきた成果・課題と今後の取組について～

区 名	東淀川区
学 校 名	大阪市立大隅西小学校
学 校 長 名	出口 みか

文部科学省による「全国学力・学習状況調査」について、令和8年4月に、6年生を対象として、「教科（国語・算数）に関する調査」と「児童質問調査」を実施いたしました。

大阪市教育局では、保護者や地域の皆様等に説明責任を果たすとともに、より一層教育に関心をお持ちいただき、教育活動にご協力いただくため、各学校が調査結果や調査結果から明らかになった現状等について公表するものとしています。

本校でも、調査結果の分析を行い、これまでの成果や今後取り組むべき課題について明らかにしてまいりましたので、本市教育局の方針に則り公表いたします。

なお、本調査により測定できるのは、学力の特定の一部であり、学校における教育活動の一側面に過ぎません。

1 調査の目的

義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図るとともに、学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。さらに、そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

2 調査内容

(1) 教科に関する調査

- ・国語
- ・算数

(2) 質問調査

- ・児童に対する調査
- ・学校に対する調査

3 調査の対象

- ・国・公・私立学校の小学校第6学年の原則として全児童
- ・大阪市立大隅西小学校では、第6学年 35名

令和8年度「全国学力・学習状況調査」大阪市立大隅西小学校の結果概要

今年度の平均値は、国語では市平均より6ポイント下回り、算数では市平均より8ポイント下回る結果となった。一方で、国語・算数ともに無回答率は市平均や全国平均よりも低い水準（2.4％）となっており、子どもたちが難しい問題であってもあきらめずに最後まで粘り強く取り組もうとする姿勢が見られた。

分析から見えてきた成果・課題

教科に関する調査より

【国語】

「読むこと」や「情報の扱い方」に関する領域において全国および市の平均と同水準程度の結果が見られ、文章から必要な情報を読み取ったり、整理したりする基礎的な力には一定の定着がうかがえる。一方で、「書くこと」に関する領域において正答率が大きく下回っており、自分の考えを文章で根拠や順序だてて表現することに課題が残っている。また、「言葉の特徴や使い方」などの言語事項における正答率も低く、語彙や文法など言語表現の基盤となる知識・技能の定着に課題が見られる。

【算数】

基本的・定型的な計算処理や、図表を活用して数量関係を整理する領域において粘り強く取り組む姿が見られ、無回答率の低さ（2.4％）に象徴されるように、難易度の高い問題であってもあきらめずに回答しようとする姿勢には成果がうかがえる。一方で、「割合」や「単位量当たりの大きさ」といった抽象的な概念の理解や、複数の条件から必要な情報を選別して解決手順を組み立てる領域において正答率が市平均（56％）を大きく下回り、全体の平均（48％）を引き下げる要因となっている。また、解法の理由や思考のプロセスを言葉や式、図を用いて根拠立てて説明する表現力にも課題が残っている。

質問調査より

無答率の低さ（2.4％）に象徴されるように、難易度の高い問題に対してもあきらめず最後まで解こうとする粘り強い学習姿勢が定着している。また、質問調査では約75％の児童が友だちと協力して課題解決に取り組む姿勢を示しており、授業内での協働的な学びに対する基礎的な素地や意欲が見られることは成果と言える。一方で協働学習に対する肯定的な回答は市平均（90.4％）や全国平均（91.4％）との間に開きがあるため、対話や意見交流の質を深め、すべての児童が学びあいを実感できる授業づくりを推進していく必要がある。

今後の取組（アクションプラン）

国語科および教科横断的な課題である記述力・発信力の育成に向けては、「主張＋理由・根拠」を組み合わせた記述の型を活用した指導を推進する。主観的な感想にとどまらず、論理的な文章構成力を養うとともに、他教科や日々の授業のふりかえりにも活かすことで、自らの考えを客観的根拠とともに記述する習慣を定着させる。

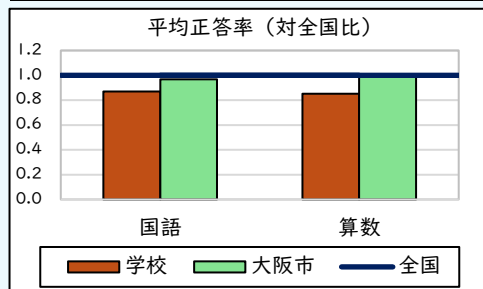
算数科においては、「割合」や「単位量当たりの大きさ」に代表される抽象的な概念の定着を図るため、数直線や関係図などを活用した指導を推進し、数量関係の構造的な理解を深める。あわせて、単に計算結果を導き出すだけでなく、「どのような理由でその式を立てたのか」といった思考過程を言葉や図で説明する活動を日常的に取り入れ、概念理解の深化と論理的表現力の向上を一体的に図る。

質問紙調査で見られた協働的な学びへの素地（75.6％）を生かし、授業内での対話的な学びの質を向上させる。単なる答えの教え合いに終わらせず、異なる考えやその根拠を比較・検討し合う活動へと深化させる。他者とのかわりの中で自分の考えを練り上げる体験を積み重ねることで、表現力の課題課題解決を図るとともに、すべての児童が互いの学びを高め合える授業づくりを推進する。

令和8年度 全国学力・学習状況調査 教科に関する調査結果の概要

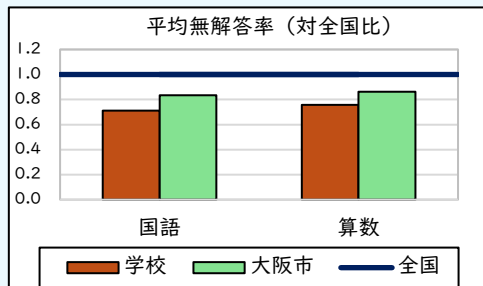
平均正答率 (%)

	国語	算数
学校	53	48
大阪市	59	56
全国	60.9	56.4



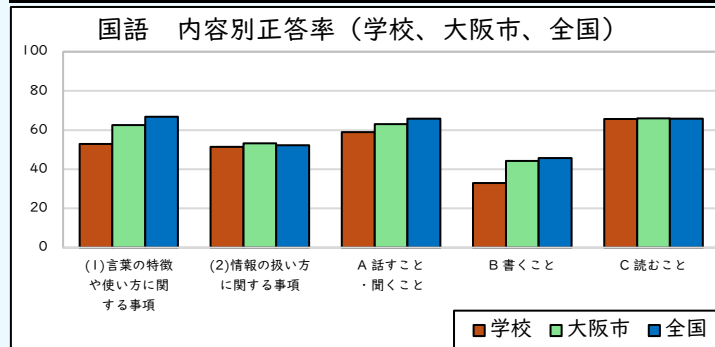
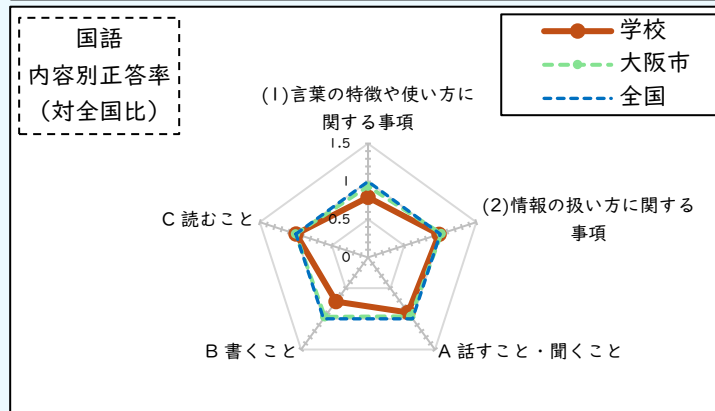
平均無解答率 (%)

	国語	算数
学校	2.4	2.4
大阪市	2.8	2.8
全国	3.4	3.2



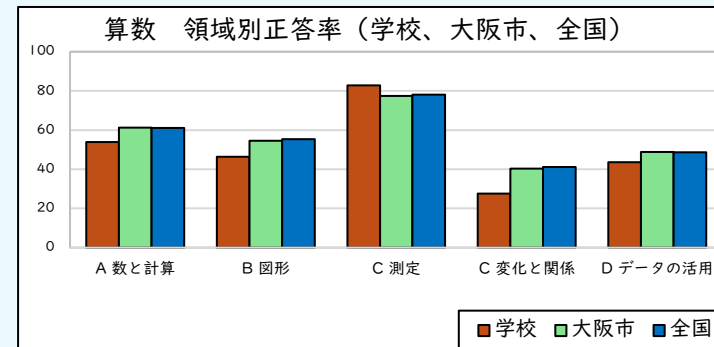
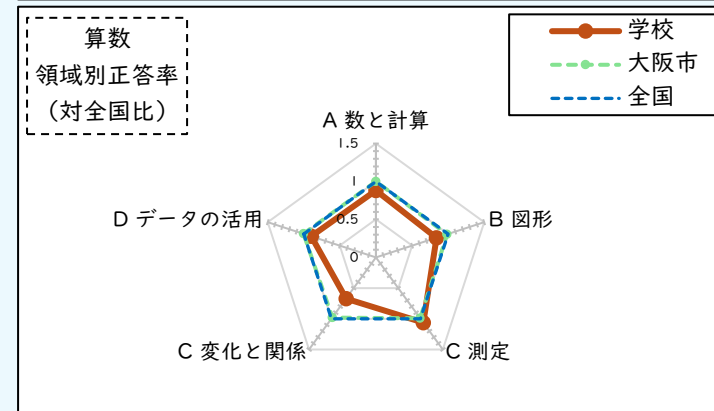
【国語】 内容別正答率

学習指導要領の 内容	対象問題数 (問)	平均正答率 (%)		
		学校	大阪市	全国
(1)言葉の特徴や使い 方に関する事項	4	52.9	62.5	66.8
(2)情報の扱い方に 関する事項	2	51.4	53.2	52.3
(3)我が国の言語文化 に関する事項	0	-	-	-
A 話すこと・聞くこと	3	59.0	63.1	65.8
B 書くこと	2	32.9	44.2	45.7
C 読むこと	2	65.7	66.0	65.9



【算数】 領域別正答率

学習指導要領の 領域	対象問題数 (問)	平均正答率 (%)		
		学校	大阪市	全国
A 数と計算	8	53.9	61.2	61.1
B 図形	4	46.4	54.5	55.3
C 測定	1	82.9	77.5	78.1
C 変化と関係	3	27.6	40.3	41.1
D データの活用	4	43.6	48.8	48.6



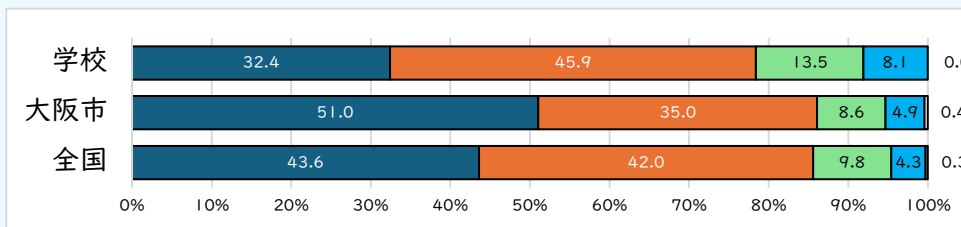
令和8年度 全国学力・学習状況調査 児童質問調査より

■1 ■2 ■3 ■4 ■5 ■6 ■7 □その他・無回答

質問番号 質問事項

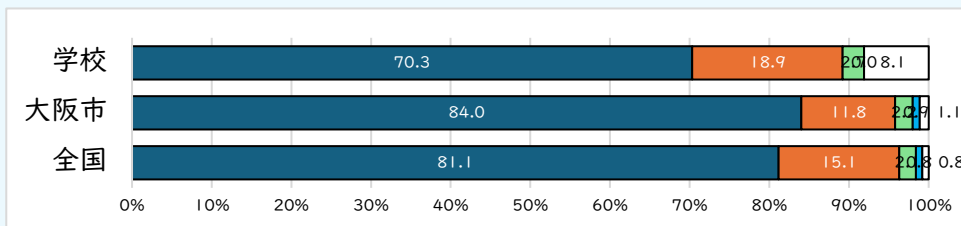
※集計値を四捨五入するため、横軸合計が100.0%にならない場合があります。

(8) 自分には、よいところがあると思いますか



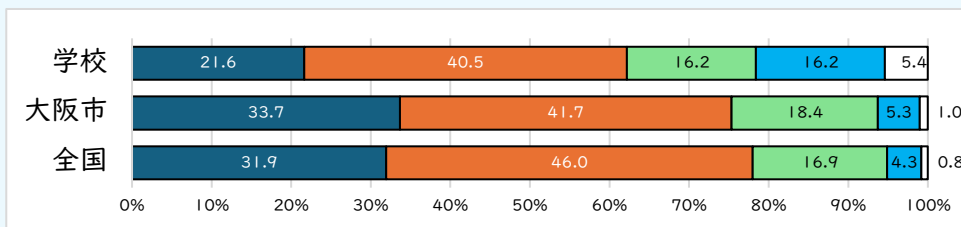
1 当てはまる
2 どちらかといえば、当てはまる
3 どちらかといえば、当てはまらない
4 当てはまらない

(12) いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか



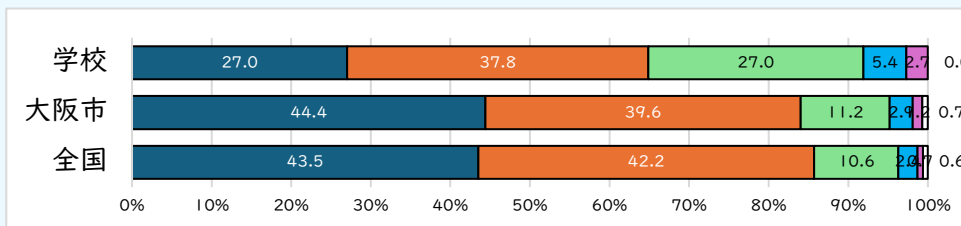
1 当てはまる
2 どちらかといえば、当てはまる
3 どちらかといえば、当てはまらない
4 当てはまらない

(16) 自分と違う意見について考えるのは楽しいと思いますか



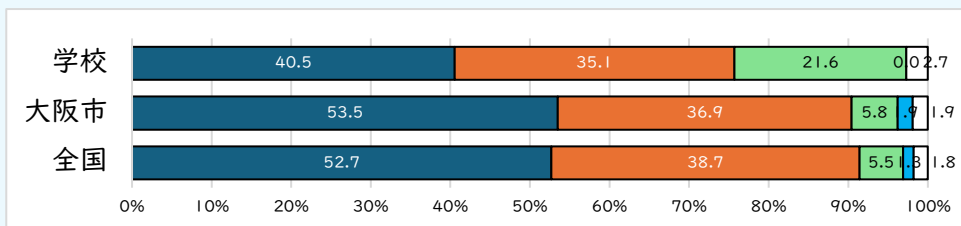
1 当てはまる
2 どちらかといえば、当てはまる
3 どちらかといえば、当てはまらない
4 当てはまらない

(42) 学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、新たな考え方に気付いたりすることができていますか



1 当てはまる
2 どちらかといえば、当てはまる
3 どちらかといえば、当てはまらない
4 当てはまらない
5 学級の友達との間で話し合う活動を行っていない

(46) 授業や学校生活では、友達や周りの人の考えを大切にしてお互いに協力しながら課題の解決に取り組んでいますか



1 当てはまる
2 どちらかといえば、当てはまる
3 どちらかといえば、当てはまらない
4 当てはまらない

令和8年度全国学力・学習状況調査 学校質問調査より

■ 1 ■ 2 ■ 3 ■ 4 ■ 5 ■ 6 ■ 7 □ その他・無回答

質問番号

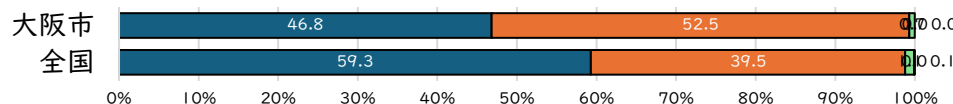
質問事項

※集計値を四捨五入するため、横軸合計が100.0%にならない場合があります。

(11)

調査対象学年の児童に対して、前年度までに、学校生活の中で、児童一人一人のよい点や可能性を見付け評価する（褒めるなど）取組を行いましたか

【学校の回答】 1 よく行った

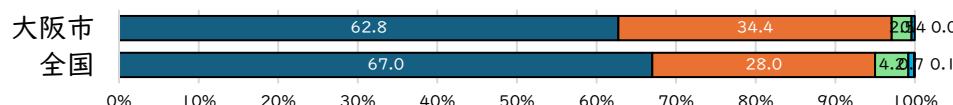


1 よく行った
2 どちらかといえば、行った
3 あまり行わなかった
4 全く行わなかった

(13)

スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーによる教育相談に関して、児童が相談したい時に相談できる体制となっていますか

【学校の回答】 1 そう思う

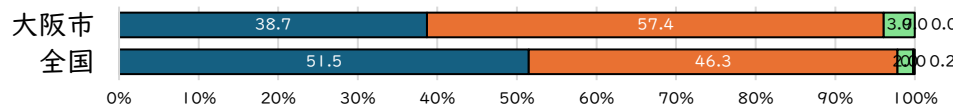


1 そう思う
2 どちらかといえば、そう思う
3 どちらかといえば、そう思わない
4 そう思わない

(18)

指導計画の作成に当たっては、教育内容と、教育活動に必要な人的・物的資源等を、地域等の外部の資源を含めて活用しながら効果的に組み合わせていますか

【学校の回答】 1 よくしている

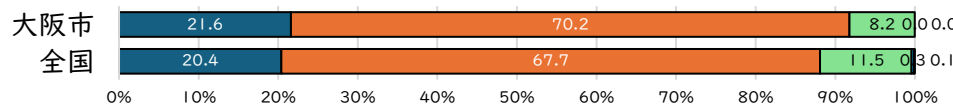


1 よくしている
2 どちらかといえば、している
3 あまりしていない
4 全くしていない

(26)

調査対象学年の児童は、授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組むことができていると思いますか

【学校の回答】 1 そう思う

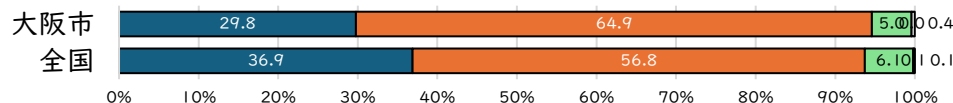


1 そう思う
2 どちらかといえば、そう思う
3 どちらかといえば、そう思わない
4 そう思わない

(41)

調査対象学年の児童に対して、学級生活をよりよくするために、学級会で話し合い、互いの意見のよさを生かして解決方法等を合意形成できるような指導を行っていますか

【学校の回答】 1 よくしている



1 よくしている
2 どちらかといえば、している
3 あまりしていない
4 全くしていない